



# 第42回 臨時大会開催！

2024年12月11日、私たちJR東海労は、大阪の地で第42回臨時大会を開催し、会社・権力の代弁者としか言えないまでに腐敗堕落したJR総連からの脱退とJR総連と共に進む組織脱落者への査問委員会設置を決定しました。

## もはや組織破壊産別と化したJR総連からの脱退を決定！

2024年9月12日、JR総連は第41回臨時大会を開催し、JR東海労の除名処分を決定しました。この除名処分決定は、嘘とデッチ上げによる虚偽の事実に基づいたものでした。従って私たちは、この除名処分決定に対して、事実を反する事であり制裁には値しないことを具体的な事実を以て弁明・抗議し、査問委員会に再審査の申し立てを行っていました。ところがJR総連は、12月12日に第42回臨時大会を開催し、JR東海労の除名処分を決定する。その後、敢えて第43回臨時大会を開催し、11月28日にJR東海労からの脱落者で結成させた新組合（JRセントラル労働組合）のJR総連加盟を決定することが判明しました。

これは、産別組織・JR総連が加盟単組・JR東海労の組織破壊を行うという絶対に許されない行為です。こんな組織破壊産別・JR総連から除名処分を受ける理由も必要も全くありません。従って私たちは、JR総連からの組織破壊攻撃を許さず、断固闘う意志を明確にするために、JR総連と決別し、JR総連から脱退することを決定しました。

## 組織破壊・脱落者に対して査問委員会を設置！

また、JR東海労結成以降33年間の闘いを否定し、「JR総連と共に」とか「森下を支える」とか「何も話すことはない」と言って逃亡した挙句、JR総連からの組織破壊攻撃に賛同・加担した脱落者に対しては、査問委員会の設置を決定しました。

JR総連に援助されて、JR東海労を破壊するためだけの目的で結成された新組合（JRセントラル労働組合）づくりに加担した脱落者は今も私たちから逃げ回っています。

彼らの犯罪性は、今後の運動で明らかになります。

**私たちは、今後ともあらゆる組織破壊攻撃を許さず、東海の地から虐げられている労働者の権利と利益を守るために闘っていきます。**